

## ”燦歩会” なかなか例会が開けません

燦歩会は昨年11月に「京都一周トレイル 銀閣寺～比叡山」を歩いて以来、コロナのために休会を余儀なくされています。

近畿旧友会ハイキングクラブ燦歩会は1982年11月に歩き始め、今年2月で例会500回に達しました。参加人数は累計7,565人、歩いた距離は3,780kmに昇ります。先輩方が最初の回に歩いたルートは、「北山の辺の道」でした。奈良の興福寺・春日大社から、白毫寺（びやくごうじ）、新薬師寺、そして古道「山の辺の道」に沿って南に向かったそうです。

私たちは500回を記念して、3月にこのルートを歩く予定でした。折から白毫寺の「五色椿」が見ごろの筈でした。奈良三名椿のひとつ「五色椿」は、樹齢約400年ともいわれ、緑の苔に散り敷く紅・白・桃色の斑入りの花びらが美しく、奈良県の天然記念物にも指定されています。

しかしzoomで役員会を開いて話し合った結果、慎重を期して、このプランは見送り、4月のコロナ好転を願って延伸する事にしましたのです。奈良公園の4月はまぶしい程に新緑が輝きます。タイトルを「新緑の奈良公園を歩く」と書き替えて、同じルートを歩く積りでした。しかし結局実施に踏み切る事は出来ず、4月の例会も休止の判断。歩くに歩けない燦歩会になってしまいました。

当初のプランでは山村御殿円照寺まで歩き、帰路のバスを途中下車して、「頭塔(ずとう)」を見ることにもなっていました。頭塔は盛土の表面を石で覆い、随所に写真（昭和50年代の発掘調査時）の様な浮彫の石仏を配した珍しい形の仏塔です。僧玄昉の首塚という伝説から、この字が当てられてきました。「奈良にもあったピラミッド？」と称され、頭塔は国の史跡に、22基の石仏は国の重要文化財に指定されています。

特別な見学のお願ひもしていたのですが、それもお預けになってしまいました。

さて5月23日(日)の例会は、実施できるかどうか？  
緊急事態が宣せられている現状では、実施は難しいかも知れません。  
すっかり熟達したzoom役員会で、5月第1週に話し合う事にしています。

一日も早いコロナの収束、心置きなく歩ける日の来ることを願うばかりです。



文・写真 生島(おじま)幸弥